

特に真のお母様は、天の祝福がイギリスを経てアメリカ、そして、再び島国である日本に渡ってきた背景には、天の父母様を中心として、これらの国々が一つになる中でメシヤに会い、世界を抱き、世界のために生きながら、世界を愛する道を行かなければならない責任を、天の父母様がこれらの国家に賦与された事実があるということ力を説かれました。そして、神様が、御自身が立てて祝福を与えた国から離れざるを得ない原因は、天の復帰摂理を正しく知ることができないまま、利己主義と自国中心主義、思想の混沌と家庭の破壊問題などに陥ってしまったことにあると指摘され、その例として、イギリスとアメリカを挙げられました。

すなわち、これらの国家が天と最初に約束した内容を最後まで守ることができず、変貌してしまったことを指摘されたのです。そして、真のお母様は、「結果的には、個人であれ国家であれ、自己中心的に生きれば、天の摂理と距離を置くようになり、結局、これによってすべての問題が生じるようになるのです」と語られながら、改めて、神様が再臨主を送られるまでの険しい路程と、この地上に來られた再臨主が真の父母になるまでの路程を、簡略に、しかし明確に説明してくださり、人類を救うための神様の救援摂理歴史は、真の父母が現れてこそ終結するのであり、真の父母様には、人類に「あなたたちもこのように生きてこそ、神様と一つになれる」と、はっきりと教えてあげるべき責任があると語られました。

また、国家圏を越えて、世界的、宇宙的次元において神様を人類の父母として侍ることのできる天の主権を立てるため、真の父母様御自身がすべての蕩滅条件を立てられながら、韓国を摂理的父の国、日本を摂理的母の国として立てられるという、大きな祝福の歴史を率いてこられたということを説明。真のお母様は、「父と母が一つになってこそ仲睦まじい家庭になるように、父と母が一つになって、墮落した世界の子女をすべて抱き、真の父母様の前に連れてこなければなりません。そして、神様があれほどまでに願われた故郷を探し出してさしあげなければなりません。その故郷とは、どこでしょうか。正に、真の父母様の故郷です。それゆえ、日本と韓国が一つになり、祖国統一、南北統一の道を歩まなければなりません」と語られながら、「これだけが、現在の70億人類の前に韓国と日本が中心国家として立つことのできる道であり、今現在、人類が経ているすべての難問題を解決する方法を探し出せる道です」と強調されました。最後に真のお母様は、「日本統一教会の祝福家庭と食口は、日本がアジアを越え、世界から尊敬と愛を受けられる国として高くそびえ立つことができるよう、まず日本の国民に天のみ言と祝福を伝え、真の父母様と一体を成せるようにしなければなりません」と願われながら、すべてのみ言を終えられました。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2、ビジョン2020勝利のための「第二次40日特別精誠路程」が行われます。

期間：2013年10月28日(月)～12月6日(金)【40日間】

3、第9地区11月度出発決断式

日時：11月2日(土) 10:30～

場所：大阪教会

参加対象：牧会者、FB長、区域長以上の責任者、スタッフ

4、6500双祝福25周年記念の集い

日時：11月3日(日) 18:00～

場所：ホテルピアザびわ湖

5、京都教区中和文化祭

日時：11月4日(月) 14:00～

場所：京都教会

6、カップルセミナー

日時：11月9日(土) 10:30～16:00

場所：京都・烟河

7、守れ！日本の平和と安全 京都大会

日時：11月17日(日) 10:30～

場所：ホテル ルビノ京都堀川

8、京都セミナー(二日修練会)

日程：11月2日(土)・3日(日)、11月9日(土)・10日(日)

11月16日(土)・17日(日)、11月23日(土)・24日(日)

場所：サン・アカデミー京都

【1日目】13:30～20:00 (13:00受付)

【2日目】10:00～16:00 (9:30受付)

9、しあわせ講演会

毎週金曜日 10:30～、14:00～ 場所：サン・アカデミー京都

10、教区全体特別精誠祈禱会

毎週金曜日 21:00～ 場所：京都教会

11、VISION2020勝利の為の基台長及び区域長修練会

日程：10/31(木)～11/5(火)、11/14(木)～11/19(火)

12、清平修練会

11/2(土)～11/4(月)、11/8(金)～11/10(日)

☆ 11月は、霊肉界マッチング修練会と霊肉界祝福式、四位基台入籍祝福式が行われます。

霊肉界マッチング修練会：11/8(金)～11/10(日)

霊肉界祝福式：11/16(土)～11/18(月)

四位基台入籍祝福式：11/30(土)～12/1(日)

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



京都教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Kyoto Church
世界基督教統一神靈協会

教区長：武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町 6

Tel : 075-313-0539 / Fax : 075-325-2712

E-mail: son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP : <http://www.uckyoto.org/>



天地人真の父母様

日本巡回勝利帰国歓迎大会

教会音信 司会者
閉 会 司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

日本を許し、祝福してくださったのは、真の父母様であられます。わかりますか？母の国。エバの国。母の愛はどのようなものですか？息子が病気になったり、息子が苦しんでいるのに、私は母であるからと言って喜んでばかりいられますか？この日本に責任を持ち、これから日本を率いていくべき方々の思いが、自国に偏っていれば摂理に逆らっていくのです。母は全世界の子女達を抱かなければならないのです。抱いて、教育して、真の父を紹介し、真の父母として父母の懐に率いて来なければなりません。そのような責任が日本に下さった天の祝福です。先ほども言いました。祝福の前には責任がある。責任を果たせなければ蕩滅がある。私たちは歴史を通して選ばれた民族。責任者。国々が責任を果たせなかった時にはどんな大きな蕩滅を受けるのかも見て来ました。私が壇上で一つ一つお話しなくても皆さんはおわかりになるでしょう。

大きな祝福を受けた場、その場が私だけの場ではない全体の世界が一つとなる事の出来る場に出て行くことができるように、責任を果たさなければならないという事です。これからは地理学的にも日本は韓国と一つとならなければなりません。

日本の祝福家庭と日本の全国民が真の父母様と一つになり、アジアを救い、世界を救うことに先頭に立とうではないでしょうか。そのためには皆さんがみ言を伝えなければなりません。生命を復活させなければなりません。墮落圏を脱することができるように助けてくださらなければなりません。

2013年基元節を通して、蕩滅復帰摂理は完成、完了し、天の父母様を中心とした新しい時代、新しい歴史が開かれている天一国時代に突入したことを説明しました。そうです。天は必ず成功され、成されます。

ここに皆さんが拍車をかけ、2020年は勿論です。これから皆さんが命が尽きる日まで天の父母様の栄光を全人類70億の前に現す、先駆者の先祖となられるようお願いしながら話を終えたいと思います。ありがとうございます。

(日本宣教55周年及び教会創立54周年記念大会)

「日本宣教55周年記念西日本大会 祝勝訓誂会」

天曆9月19日(陽曆10月23日)午前6時から神戸市内のホテルで、「日本宣教55周年記念 西日本大会 祝勝訓誂会」が行われ、地元の教会員など約1000名が集まりました。

祝勝訓誂会は、韓鶴子・世界平和統一家庭連合総裁の入場とともにスタート。花束贈呈、ケーキカット、代表報告祈禱に続き、み言が訓誂されました。

続いて、第9地区の徐永運地区長が、西日本大会について報告。「文鮮明総裁と同様に韓総裁にも篤い信仰と熱意を感じた。会場が一つとなり、教会員のパワーを感じた」(元国会議員)といった感想があったことを紹介しました。

また、一連の大会に随行した梁昌植・天宙平和連合世界議長は「(大会を通じて韓総裁は)新しい摂理の出發を宣言され、私たちがどこに向かうべきかを決めてくださった」と説明。全国祝福家庭連合会の宋龍天総会長も「人類の真の父母であられる真のお母様が、真のお父様とともに訪ねて来てくださり、日本列島全体を祝福され、日本は新しく生まれ変わりました」と述べた上で、伝道勝利と韓日一体化を通じて、「祖国光復」「南北統一」は必ず成し遂げることができると訴えました。

一方、韓鶴子総裁はメッセージの中で、「皆さんが心一つにして、私とともに大会を準備し、日本が『母国』としての使命を果たそうと努力している姿を見て、本当にありがたく、涙が出るほどでした」と心情を吐露されました。

また、「私たちは正確に目標を知っています。心と体一つにして投入すれば、(教会員の)10倍化は問題ありません。霊界のお父様が“日本を選んで良かった”と安心して頂けるような皆さんになってください」と呼びかけられました。

祝勝訓誂会は、韓総裁の指名を受け、ご家族の崔妍娥様をはじめ数組が歌を披露した後、韓総裁のリードに合わせ会場全体で「オンマヤ ヌナヤ」を合唱。最後に、第11地区の黄鼎禹地区長が万歳四唱を行い、幕を閉じました。

